

歴史博物館 開館35周年記念 浮世絵の世界と市川 利根川東岸式覧を中心に

縄文の時代から歴史に登場する本市には、原始から奈良・平安時代までの出土品や様子を展示・紹介した「考古博物館」と、鎌倉時代から現代までの現存する古文書や民具などの歴史や民俗を展示・紹介した「歴史博物館」があります。今号では、開館35周年の「歴史博物館」の企画展「浮世絵の世界と市川」を紹介します。江戸後期から明治にかけての市川を視覚的に見ることができ、地域の歴史を知る絶好の機会となります。

問 373-6351歴史博物館

開館35周年記念 平成29年度企画展
「浮世絵の世界と市川・利根川東岸式覧を中心」
会期 7月16日(日)~9月3日(日)
開館時間 午前9時~午後4時30分
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
会場 歴史博物館2階特別展示室

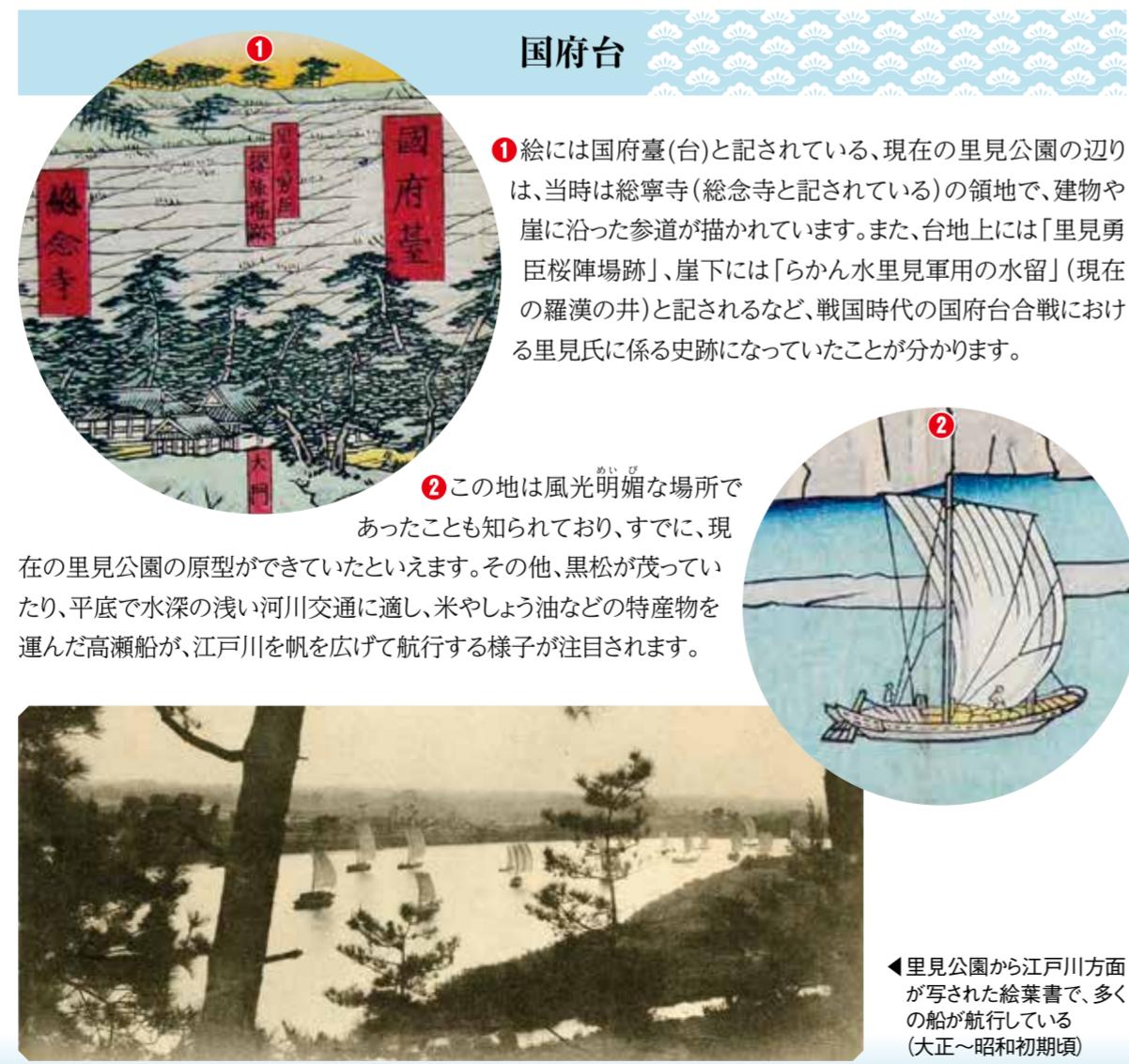
浮世絵ってなに

浮世絵は、江戸時代に発達した絵画の手法です。肉筆画と木版画があり、特に木版画は大衆文化の一つとして普及し、美人画や役者絵など当時の風俗が描かれています。

「利根川東岸式覧」は主に当時の市川が描かれ、市域の景観がよく分かり、地名・名所・寺社・歴史的な故事などが記された木版画です。江戸時代後期からは、旅行ブームに伴って、今回の「利根川東岸式覧」のように名所絵が描かれていきます。江戸庶民にとっては、市川が景勝地として魅力ある手頃な旅先だったのかも知れません。



作品から見えてくる当時の市川



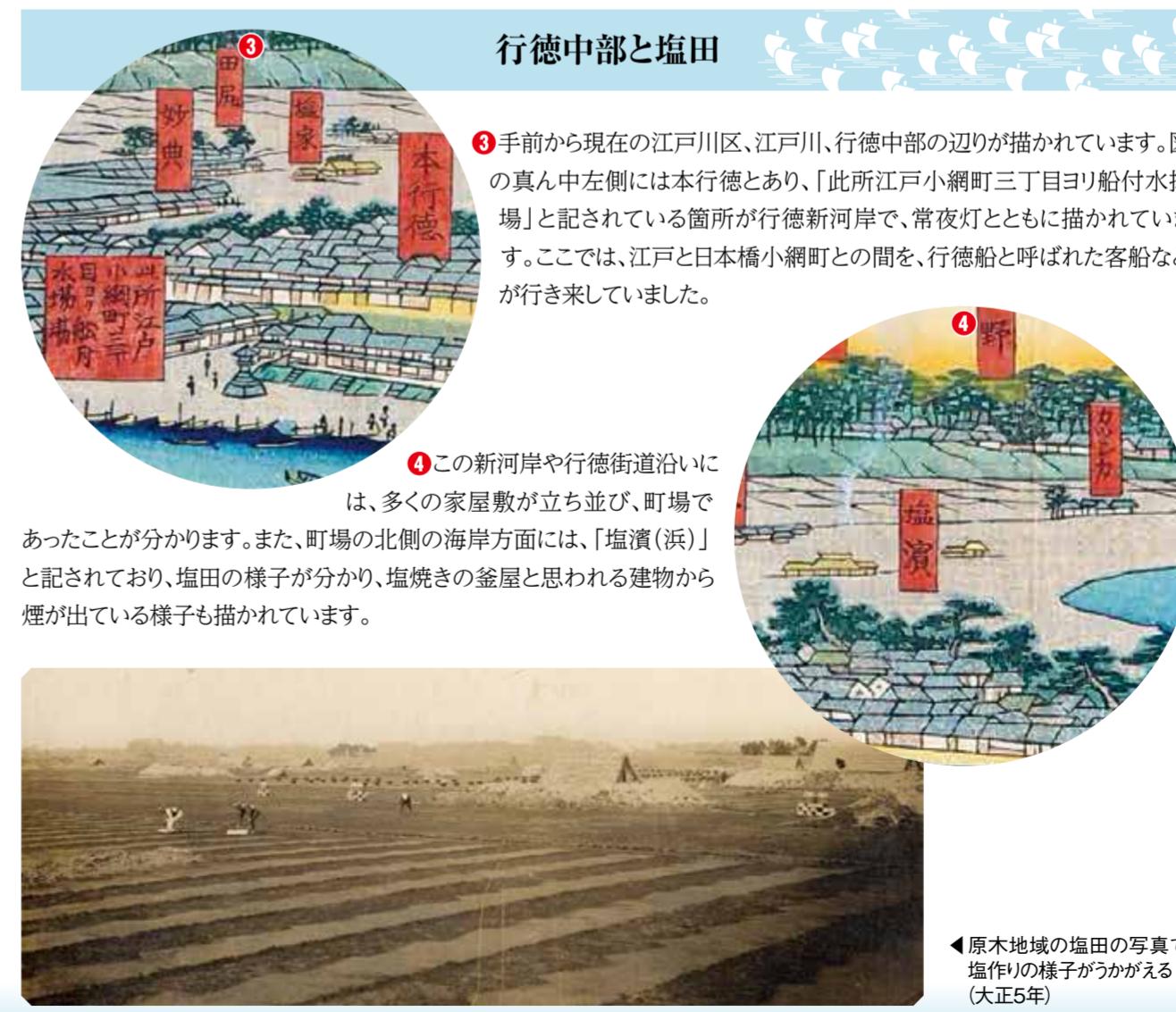
学芸員からの一言

今回の企画展で紹介する「利根川東岸式覧」という浮世絵には、江戸川を行き交う和船、行徳の塩田、水辺の広がりや水害の様子がイメージされる真間川など、現在では見ることができない風景が描かれています。また、八幡の農具市や、国府台と真間

の辺りが史跡や名勝になるなど、現在へと引き継がれていく事柄もみることができます。この機会に、市域の歴史理解を深め、愛着を持つてもらえば幸いです。



▲小野英夫学芸員



関連イベント

講演会 「江戸川・利根川舟運事情・和船の時代から蒸気船の登場まで」
講玉井幹司氏(物流博物館学芸員)
日 8月6日(日)午後2時~4時
場 歴史博物館2階講堂
人 先着60人
申 373-6351同館

展示説明会
展示資料について、歴史博物館の学芸員が解説します。申し込みは不要です。
日 7月22日(土)・29日(土)、8月13日(日)・20日(日)、9月3日(日)午後2時~2時30分

子ども向け行事
申し込みは不要です。
◆絞り遊び、べか船に乗ろう
日 毎週土曜日(8月19日を除く)午後1時30分~3時30分
◆子ども用展示説明会(自由研究向き)
日 8月2日(水)~4日(金)、19日(土)午前10時30分~正午

展示図録
「浮世絵の世界と市川・利根川東岸式覧を中心」
A4横判 24頁
￥300円予定

交通アクセス

住所 堀之内2-27-1
電車 北総線北国分駅より徒歩8分
バス JR市川駅より北国分駅行き「堀之内三丁目」から徒歩5分
聖徳学園行き・松戸駅行き「博物館入口」から徒歩10分
車 市川ICより約30分
駐車場 普通車30台、身障者など優先1台※中・大型バスは利用不可。

